

かなやま湖のイメーシング「ナチュラル」を歌う 皆川 大輔さん プロデビューへ

かなやま湖湖水まつりの前日に行われている「ライブダムインかなやま湖」の第1回グランプリを受賞して、かなやま湖のイメーシング「ナチュラル」を作った皆川大輔さん（札幌市出身）が、プロデビューに向けて、東京に活動拠点を移すことになり、アマチュア最後のライブとなる、町商工会青年部主催のクリスマスパーティーに出演し、集まった多くの町民を前に、熱いステージを繰り広げました。

このパーティーは、商工会青年部が主催して、一足早いクリスマスを楽しもうと、毎年12月上旬に行つて

いるもので、12月2日にみなくろで行われたパーティーには、皆川さんが本町でのアマチュア最後のステージになることもあつて、町民約250名が来場しました。

パーティーでは、第2回ライブダムインかなやま湖で優勝した「笑科書」によるライブが行われ、おなじみの軽妙なトークを交え6曲を熱唱し、会場を大いに盛り上げました。

続いて、ステージに皆川さんが登場すると、大きな拍手と「だいすけー」などの大きな声援が沸き起こりました。

ライブでは、オリジナル曲7曲を熱唱、「ナチュラル」を歌う場面では、皆川さんと交流が続けてきた、南富

良野中学校吹奏楽部の大居梨里さんが出演し、大居さんが吹くサククスに合わせて、皆川さんがナチュラルを歌うという演出もあり、さわやかな歌声と綺麗なハーモニーが奏でられ、多くの聴衆を魅了していました。

また、皆川さんの東京進出に向けて、来場した皆さんが町旗などに、応援や激励のメッセージを書き込み、安西英紀青年部長から皆川さんに手渡され、これまで活動を共にしてきた部員の皆さん一人ひとりと握手を交わしました。メッセージを受け取った皆川さんは、涙ぐみながら「ありがとうございます」と、会場からの大きな拍手に返っていました。

ライブの後、控え室に戻った皆川さんは、涙をぬぐいながら、「南富良野町の皆さんには、温かく迎えてくれて、僕にたくさんのお歌う場を提供してくれて、今日は、温かく送り出してくれました。本当に皆さんに感謝しています。頑張つてきます。」と

話してくれました。

皆川さんは、平成18年9月にかなやま湖のイメーシング「ナチュラル」を完成後、これまでに、青年部主催イベントや大乗会のふれあい合同園祭をはじめ、上川管内でのイベントなど、数多くの町内外でのイベントに出演し、その度に、札幌から来町して、青年部のまちおこしを手伝ってました。南富良野を「第2のふるさと」と話すほど、気に入った様子で、商工会青年部の特別賛助部員として活動を続け、多くの町民とも親睦を深めてきました。

皆川さんのプロデビューについて安西部長は、「さみしくなるけど、大輔の夢の実現に向けて、最後まで笑って送りだしてあげたい。今、やっとスタートラインに立てたと思うので、頑張つてほしい。プロとして、かなやま湖のステージに帰ってくる日を楽しみにしています。」と話していました。



△多くの町民を前に熱唱する皆川大輔さん



△会場を盛り上げた笑科書の2人



△大居さんの演奏で熱唱する皆川さん



△多くの皆さんが町旗などにメッセージを書きました